

夢の実現へリニア中央新幹線 68
第2回道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会を開催

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会の開催状況と高校生によるリニアモーターカー工作教室についてお伝えします。

問 リニア対策課（☎内線214）

第2回道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会

10月26日、第2回道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会が開催されました。

はじめに、協議会主催の先進事例講演が行われ、刈谷ハイウェイオアシス(株)澤田忍取締役と石川博一管理部長をお招きし、「刈谷ハイウェイオアシスの概要」をテーマにご講演いただきました。

講演では、刈谷ハイウェイオアシスの立ち上がりから携わられた自身の経験をもとに、地域密着の経営方針を踏まえ、産直市場や温泉施設、屋外ステージを開設し、地域の方が積極的に運営に参加していただけるような取り組みや、設備環境について

では、女性の目線で整備を行ったなど集客を高める取り組みについてお話がありました。

講演後、委員長の丸山輝城中津川商工会議所会頭のあいさつに続いて協議会が開催され、次の事項が審議されました。

- ① 整備する機能・施設、場所について
- ② 今後の進め方について
- ③ 意見交換

今後は、幹事会において、整備する機能・施設、候補地など具体的な検討を進めていく予定です。



協議会の様子

リニアモーターカー工作教室

10月31日、中津川工業高校の文化祭「仰星祭」で、「リニアモーターカー工作教室」が開催され、20名の小学生が参加しました。

工作教室は、中津川ロータリークラブと工業高校の共催で、子どもたちに未来の中津川市の姿を想像し、夢を膨らませてもらう場を提供することを目的に、電気科の教員と生徒の指導のもと、磁石の吸引および反発する力を利用して走らせる模型を組み立てました。



うまくできたかな？

模型は、電気科の生徒があらかじめ用意した推進用のコイルや基盤を土台に設置し、スイッチで電気を順番に流して新幹線を走らせるもので、参加した小学生は、完成したリニアモーターカーが走る姿を見て、目を輝かせていました。

リニア沿線地域で水利用アンケート調査を行っています

現在、ＪＲ東海では市内のリニア中央新幹線トンネル沿線地域において、井戸などの水利用状況についてアンケート調査と現地調査を行っています。

調査範囲を市ホームページに掲載していますので、調査範囲内に井戸などをお持ちの方で、アンケート調査にお答えされていない方は、１月末までにご連絡をお願いします。

☎ <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/wiki/リニア中央新幹線>

問 ＪＲ東海環境保全事務所（岐阜）
☎ 65-6820（９時～１７時）
またはリニア対策課（☎内線213）
※土・日・祝日・年末年始を除く